



総合地球環境学研究所
創立10周年記念シンポジウム

事前申込制 (定員500名)

主催: 総合地球環境学研究所

地球環境研究の

CHALLENGES FOR
INTEGRATION
OF GLOBAL
ENVIRONMENTAL
STUDIES:
RIHN FUTURABILITY
INITIATIVES AND
INTERNATIONAL
RESEARCH
COLLABORATION

統合と挑戦

— 国際共同研究と未来設計イニシアティブ —

プログラム [司会] ウヤル アイスン (総合地球環境学研究所助教)

12:00-13:00 受付

13:00-13:10 開会挨拶 立本 成文 (総合地球環境学研究所長)

13:10-14:50 講演

13:10-13:35 安成 哲三 (名古屋大学教授)

「地球環境変化研究における世界気候研究計画(WCRP)と地球圏生物圏国際協同研究計画(IGBP)の役割」
"Role of WCRP and IGBP in Global Change Research"

13:35-14:00 氷見山 幸夫 (北海道教育大学教授)

「グランドチャレンジのための地球研と日本IHDPの建設的協働に向けて」
"Towards A Constructive Partnership of RIHN and IHDP-Japan for the Grand Challenges"

14:00-14:25 中静 透 (東北大学教授)

「生物多様性に関する国際共同研究とその枠組み」
"Framework of International Research Programs on Biological Diversity"

14:25-14:50 佐藤 洋一郎 (総合地球環境学研究所副所長・教授)

「設計科学を取り入れた未来設計イニシアティブ — 第2期地球研の共同研究のありかた」
"The RIHN Futurability Initiatives and Design-oriented Science: On the Cutting-edge of Joint Research"

14:50-15:00 休憩

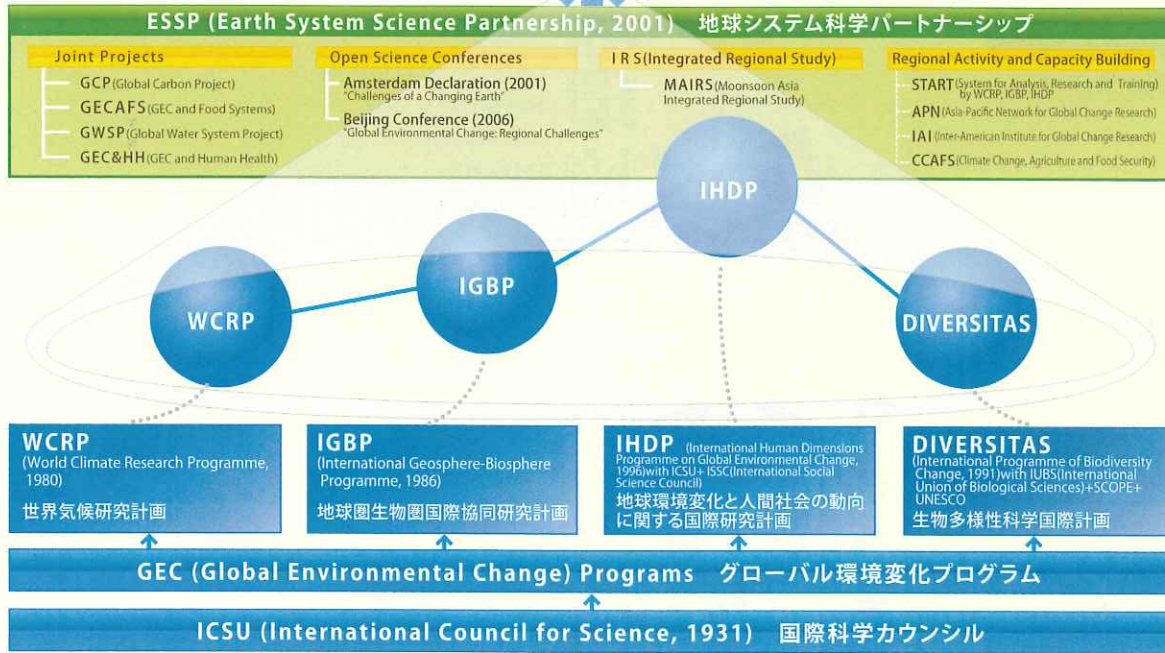
15:00-16:00 パネルディスカッション

コーディネーター: 谷口 真人 (総合地球環境学研究所教授)
パネリスト: 安成 哲三、氷見山 幸夫、中静 透、佐藤 洋一郎

16:00 閉会

2011年 4月20日(水) 13:00-16:00

国立 京都国際会館 Room A



ICSUのグローバル環境変化 (GEC) プログラムでは、WCRP, IGBP, IHDP, DIVERSITASの4つのプログラムがそれぞれの地球環境問題について国際共同研究を進め、それらを横断する組織として2001年に設立されたESSPは、この10年間に水・炭素・食・健康などの横断プログラム等を行ってきた。一方、2001年に設立された総合地球環境学研究所 (地球研) は、地球環境問題の根本的理解と、地球環境問題の解決に資する地球環境学の創設を目指して、「人間と自然との

相互作用環」の解明と未来可能性の提示を通してプロジェクト形式の研究を行い、10年目の記念年を迎えた。

地球研の設立10周年を記念して開催する本シンポジウムでは、GECの4プログラムのこれまでの成果レビューを各プログラムの日本代表を招いて行い、あわせて地球研の10年の成果を統合して新しくスタートした、基幹研究ハブ・未来設計イニシアティブの活動について紹介し、これからの地球環境研究の統合のあり方を議論する。

講演者プロフィール

安成 哲三 YASUNARI Tetsuzo

名古屋大学地球水循環研究センター 教授
Professor, Hydrospheric Atmospheric Research Center,
Nagoya University

理学博士。京都大学東南アジア研究センター助手、筑波大学地球科学系講師、助教授、教授を経て、名古屋大学地球水循環研究センター教授 (現職)。グローバルCOEプログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」拠点リーダー。専門は気象学、気候学、地球環境学。WCRP合同科学委員会委員、アジアモンスーンエネルギー・水循環観測研究計画 (GAME) 国際・国内委員会委員長などを歴任。日本学術会議会員、同IGBP・WCRP合同分科会委員長。

氷見山 幸夫 HIMIYAMA Yukio

北海道教育大学旭川校地理学教室 教授
Professor, Institute of Geography,
Hokkaido University of Education

ロンドン大学キングズカレッジ大学院地理学博士課程修了 (Ph.D.)、1989年から北海道教育大学教授。現在、国際地理学連合副会長、日本学術会議地球人間圏分科会副委員長、IGU分科会委員長、IHDP分科会委員長、GLP小委員会委員長。

中静 透 NAKASHIZUKA Tohru

東北大学大学院生命科学研究科 教授
Professor, Graduate School of Life Sciences,
Tohoku University

理学博士。森林総合研究所主任研究官、京大大学生態学研究センター教授、総合地球環境学研究所教授を経て東北大学大学院生命科学研究科教授 (現職)。専門は森林生態学、生物多様性科学。国際生物多様性研究計画 (DIVERSITAS) 科学委員、国際森林研究機関連合 (IUFRO) 理事などを歴任。

佐藤 洋一郎 SATO Yo-ichiro

総合地球環境学研究所 副所長・教授
Professor, Deputy Director-General, RIHN

京都大学大学院農学研究科修了。高知大学農学部助手、国立遺伝学研究所研究員、静岡大学農学部助教授を経て、総合地球環境学研究所教授。2008年10月より現職。専門は植物遺伝学。農学博士。文部科学省科学官。

谷口 真人 TANIGUCHI Makoto

総合地球環境学研究所 教授
Professor, Program Director, RIHN

理学博士。オーストラリアCSIRO研究員、奈良教育大学助手・助教授・教授などを経て、総合地球環境学研究所教授 (現職)、プログラム主幹 (兼務)。専門は水文学、地球環境学。ユネスコ「気候変動と地下水」プロジェクト代表、国際地下水委員会副代表、日本学術会議IAHS小委員会委員長などを歴任。



2011年

4月20日 (水) 13:00-16:00 国立京都国際会館 Room A

地下鉄丸の内線「国際会館駅」下車、地下鉄出入口4-2を出て徒歩5分 TEL:075-705-1234

●公共の交通機関をご利用ください。

主催：総合地球環境学研究所

【お問い合わせ】総合地球環境学研究所 総務課総務係

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4 TEL:075-707-2117